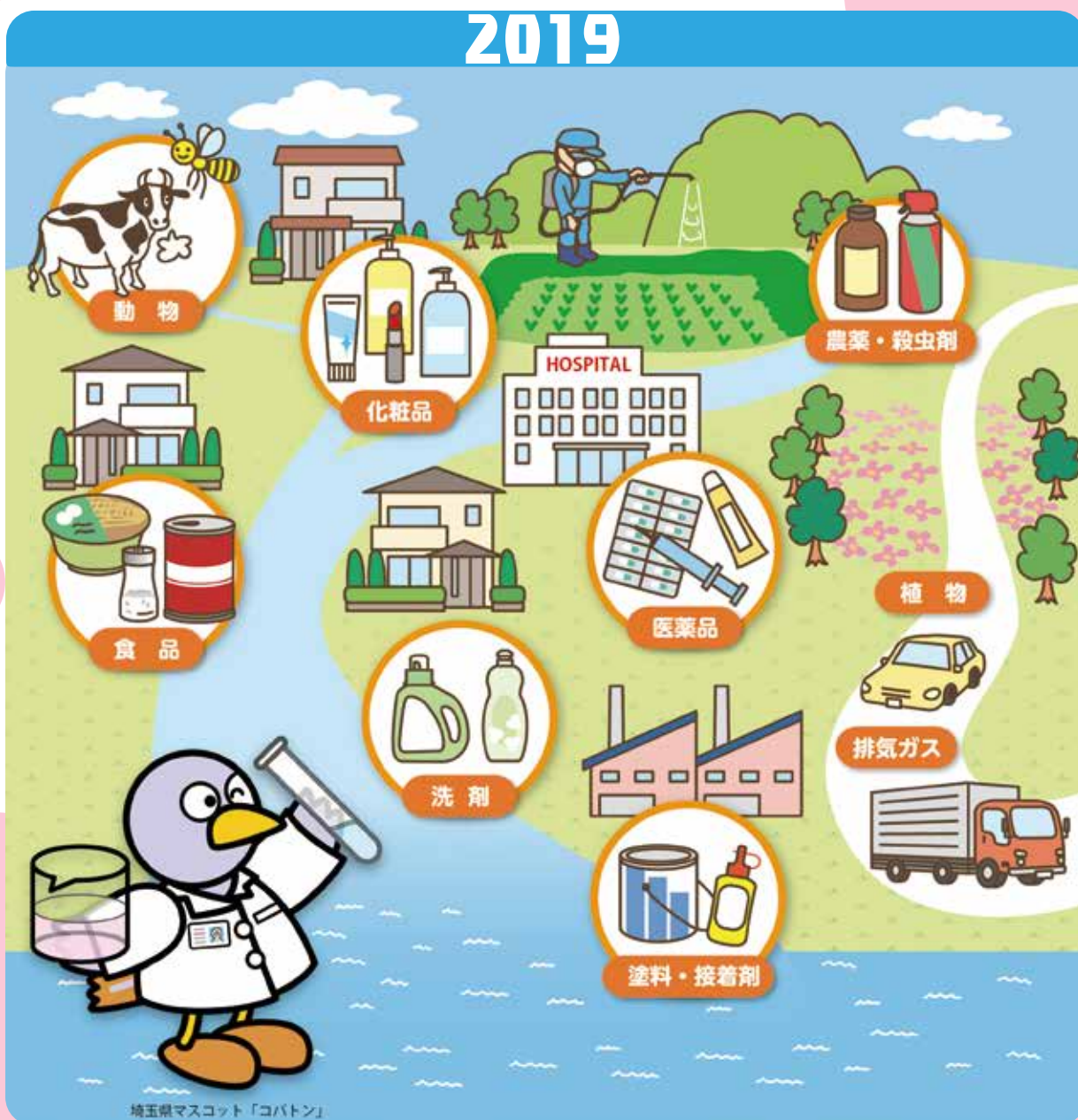


化学物質と 私たちの暮らし

— 健康で環境にやさしい生活をおくるために —

2019



彩の国



埼玉県

1 化学物質を知ろう

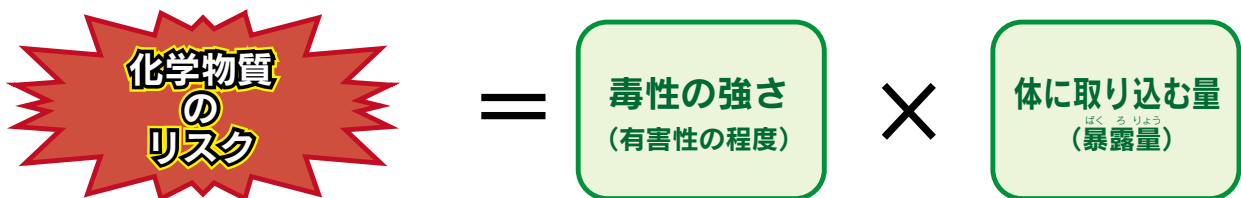
私たちの身の回りのものは全て化学物質です！

化学物質は、プラスチックなどのように工場で「人工的に作られたもの」だけではありません。生物・木材のような「自然にあるもの」も化学物質でできています。



化学物質のリスクとは —化学物質が人の健康や動植物に悪い影響を及ぼす可能性—

化学物質のリスクの大きさは、毒性の強さ（有害性の程度）と体に取り込む量（ばくろりょう暴露量）によって決まります。私たちは、化学物質について、「どのような有害性があるか」に注目しがちですが、「体に取り込む量はどのくらいか」、「どれだけ量をとり込むと影響があるのか」についても注意する必要があります。

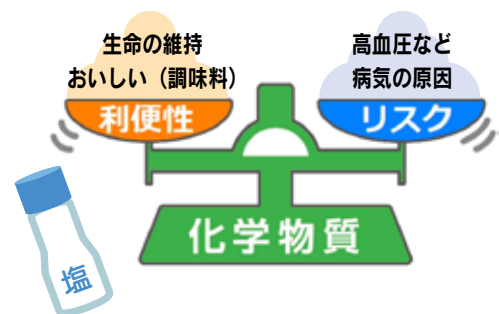


化学物質の2面性

化学物質には利便性とリスクの2面性があります。

例えば私たちが生きていく上で欠かせない食塩でも、慢性的な摂りすぎは高血圧などの原因になります。

このように、私たちの暮らしに役立つ化学物質でも、体に取り込む量によっては人に悪い影響を及ぼすことがあります。



化学物質過敏症について

一般の人が有害な影響を受ける量よりもはるかに少ない量の化学物質によって、頭痛・発熱・鼻炎・動悸・倦怠感などの様々な症状が起こることを化学物質過敏症といいます。化学物質過敏症は、発症の仕組みが解明されておらず、治療法も確立されていません。

化学物質過敏症の症状は、大きな個人差があります。日常で使われるような化学物質が、空気中にわずかな量で存在するだけでもつらい症状が出ることがあります。

芳香性のある柔軟仕上げ剤や化粧品などは、適正な使用方法を守るとともに、公共の場など人が集まるところでは周囲への配慮が大切です。

2 環境中への排出量を知ろう

PRTR*制度とは

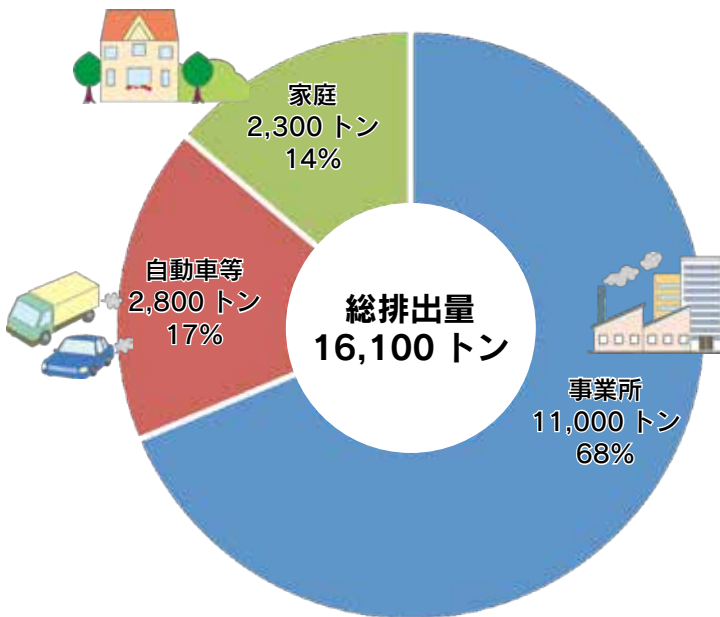
人の健康や生態系に有害なおそれがある化学物質について、事業者が、事業所から大気や河川などの環境へ排出される量などを自ら把握・国に届け出をし、国が、届出データや推計に基づき、排出量などをPRTRデータとして集計・公表する制度です。対象となる化学物質は462種類です。

*PRTR：Pollutant Release and Transfer Register（化学物質排出・移動量届出制度）

埼玉県の化学物質排出量は16,100トン

平成29年度のPRTRデータによると、埼玉県で環境へ排出された化学物質の量は16,100トンでした。これは、全国で愛知県、東京都、静岡県、千葉県に次いで5番目に多い量です。

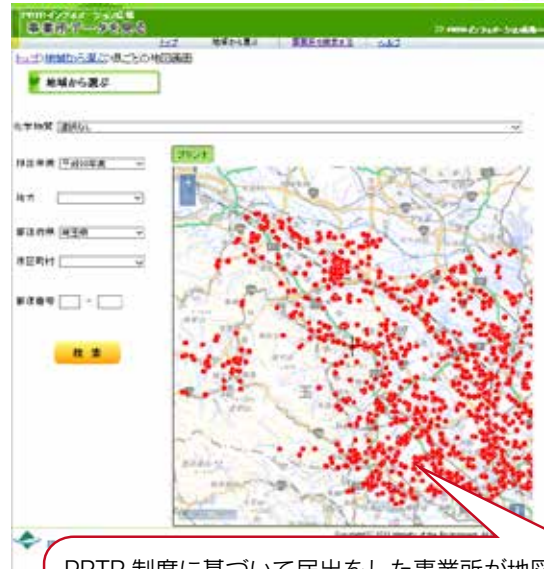
排出源別の排出量（平成29年度）



※四捨五入の関係で、合計が100%になりません。

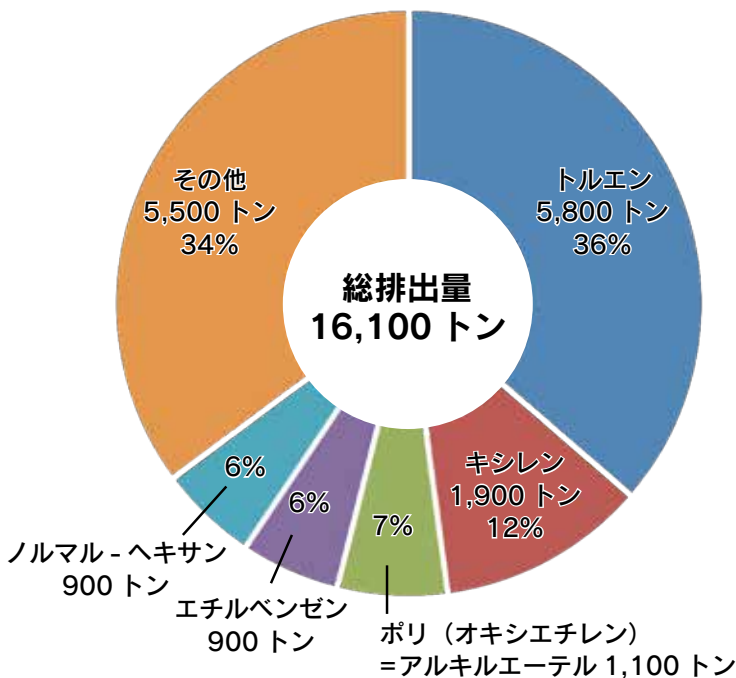
個別の事業所の排出量を知りたいとき…

PRTRデータ地図上表示システム



PRTR制度に基づいて届出をした事業所が地図上に●で表示されています。●にカーソルを合わせクリックすると事業所名称や個々の物質の排出量が表示されます。

排出された化学物質の種類（平成29年度）



※四捨五入の関係で、合計が100%になりません。

どんな物質？

トルエン、キシレン、エチルベンゼン、ノルマル-ヘキサン

油を溶かす性質をもつ液体です。塗料やインキ、接着剤の溶剤として使われていて、使用時に大気へ排出されます。また、ガソリンに微量含まれていて、排気ガスとして大気中へ排出されます。そして、大気中では光化学スモッグやPM2.5の原因にもなります。

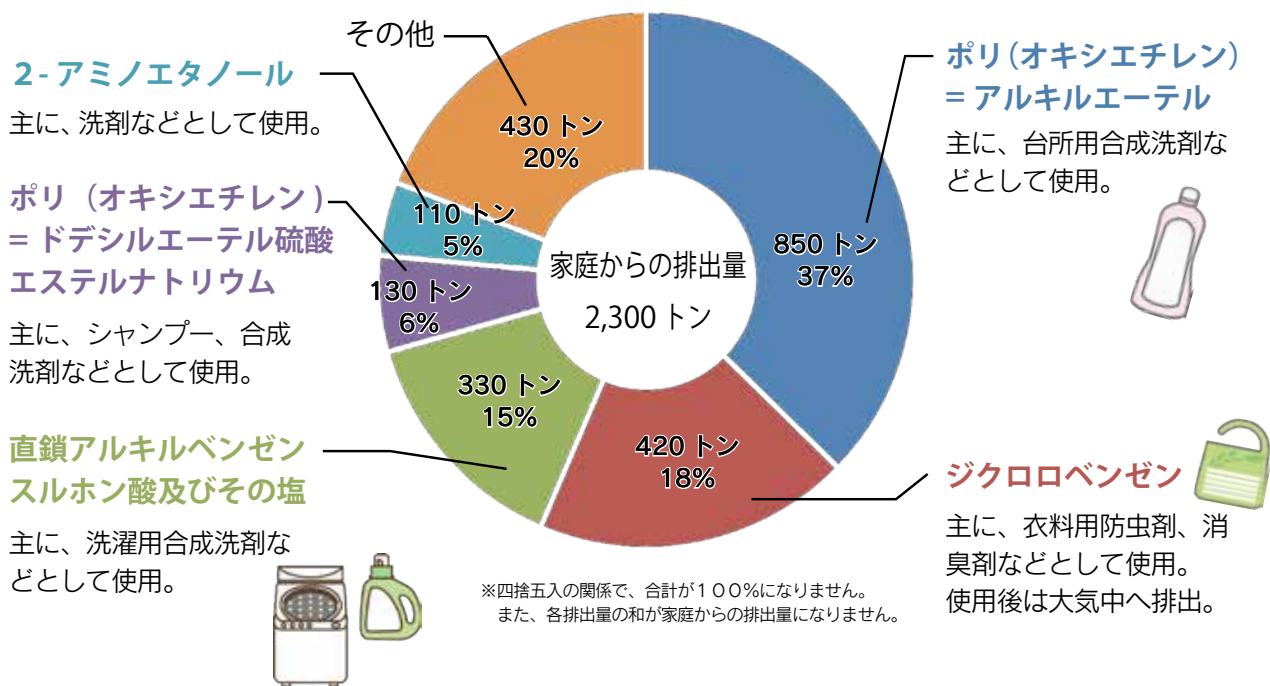
ポリ(オキシエチレン) = アルキルエーテル

油にも水にもなじみやすい性質をもつ物質(界面活性剤)です。台所用合成洗剤や洗濯用合成洗剤として使われ、河川に排出されます。

3 家庭からの排出量を減らそう

平成13年度と平成29年度を比べると、環境中に排出された化学物質の量は、事業所からは約70%、家庭からは約30%減少しています。事業所に比べ、家庭からの排出量はあまり削減が進んでいません。

家庭から排出される化学物質（平成29年度）



くらしの中で私たちにできること - できることから始めましょう -

買うとき

- できるだけ環境負荷の小さい製品を購入しましょう
 - ・原材料がリサイクルされている
 - ・詰替え用など、ゴミが少なくなるもの
 - ・旬や地場の食材
 - ・合成洗剤よりも河川で分解されやすい石けんなど
 - ・修理やリフォームが可能で、長く使えるもの
- 本当に必要かよく考え、必要な分だけ購入しましょう
- 環境ラベル・製品の表示などを参考にしましょう
- マイバッグを持参しましょう



このように購入することをグリーン購入といいます。私たちが環境を意識し、環境負荷が小さいものを選ぶことが、事業者の環境意識を高めることにつながります。

使うとき

- 防虫剤や洗剤は、適正量を使用しましょう（必要以上使用しても効果は上がりません！）
- 芳香性のある柔軟仕上げ剤を使用するときは、使用量が過度にならないよう配慮しましょう（自分にとっては快適な香りでも、他人が不快に感じることがあります）
- 掃除をするときは汚れの種類によって重曹やクエン酸を使用し、人や環境への負荷を減らしましょう
- 製品の表示を良く読み、正しく使いましょう

洗剤のラベル（例）

成分：化学物質の名前
用途：使う目的

品名：商品の種類
液性（pH）：中性・弱性・アルカリ性

使用上の注意：使うときに気をつけなければならないこと

応急処置：もしも目に入ってしまったら、飲み込んでしまったら、どうすればよいか

使用上の注意をよく読んでお使いください

●品名/台所用合成洗剤●用途/野菜・果物・食器・調理用具用
●液性/中性●成分/界面活性剤(アルキルエーテル硫酸エステルナトリウム)、安定化剤●使い方と使用量の目安/○野菜・果物・食器・調理用具の洗浄/水1ℓに対して1.5ml(約1滴)を目安に1杯は約5秒)

使用上の注意 ●上記用途以外に使わない。●子供の手の届く所におかない。●うすめた液を長時間おくと変質することがあるので、使用のつどうすめて使う。●使用後は手をよく水で洗い、クリーム等でお手入れを。●肌刺激性の方や長時間使用する場合、または原液をスポンジに含ませて使用する時は炊事用手袋を使う。●野菜・果物を洗うときは5分以上つけたままにしない。●流水の場合、食器及び調理用具は5秒以上、野菜・果物は30秒以上、ため水の場合は水をかえて2回以上すすぐ。●保管条件等によってまれに液の色が濃くなることもあるが、異臭などがなければ品質に変わりはない。●温度条件により白濁することがあるが、成分の析出によるもので、異臭などがなければ品質に変わりはない。

使用量の目安：どのくらいの量をどのように使うか

応急処置 ●目に入った場合は、こすらずにただちに流水で15分以上洗い流し、必ず眼科医を受診する。●飲み込んだ場合は、吐かせずに口をすすぎ、水を飲む等の処置をする。異常が残る場合は商品を持参して、医師に相談する。

メーカー：洗剤を作っている会社の名前と連絡先

〇〇〇〇株式会社

洗剤のラベルは、家庭用品品質表示法という法律にもとづいて、洗剤を作る会社が責任をもって表示することになっています。

台所用洗剤使用量を減らすひと手間

カレーなどドロドロした汚れは、洗う前にキッチンペーパー等でふきとりましょう

捨てるとき

- ごみは識別マークなどを参考に分別し、市町村のルールに従って捨てましょう
- 家庭からの排水は、公共下水道へ接続するか、合併浄化槽で正しく処理しましょう



車にのるとき

- エコドライブを心がけましょう
 - ・ふんわりアクセル
 - ・加速・減速の少ない運転
 - ・早めのアクセルオフ
- 車を購入するときはエコカーを選びましょう
 - ・燃料電池車、電気自動車、ハイブリッド自動車など



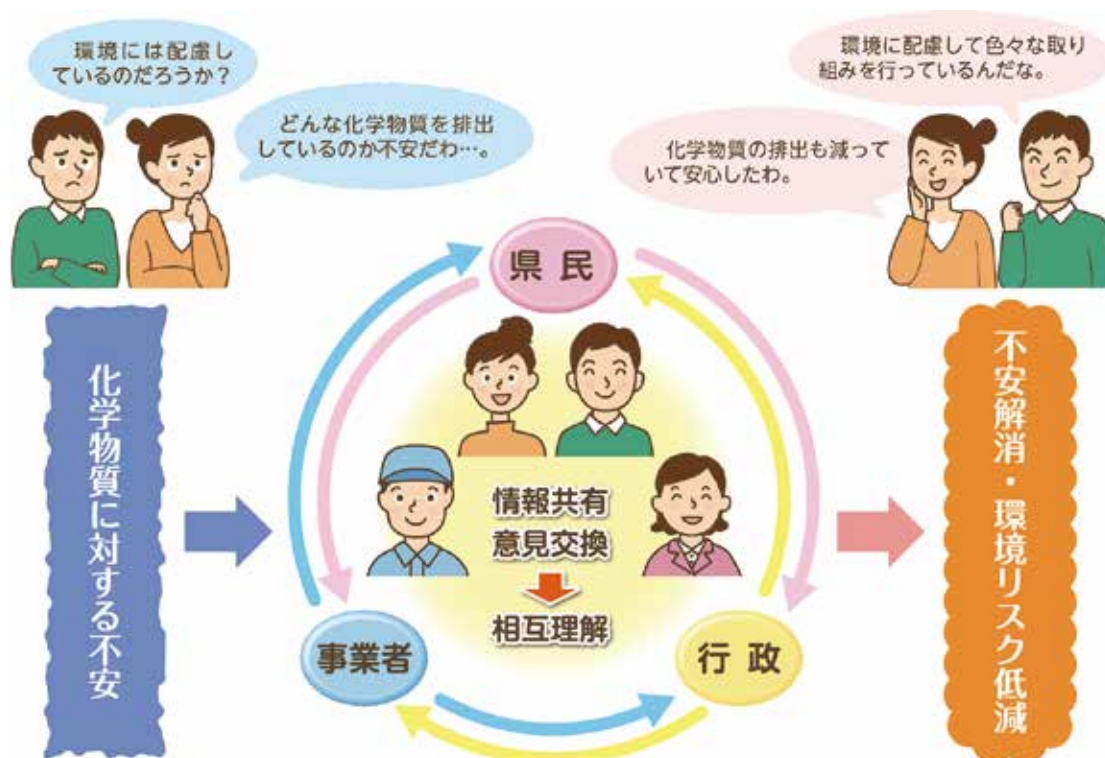
4 環境コミュニケーションで理解を深めよう

環境コミュニケーションとは

県では、県民・事業者・行政が化学物質などに関する情報を共有し、理解を深めるために行う意見交換会を「環境コミュニケーション」と呼んで推進しています。

環境コミュニケーションは、事業者が一方向的に説明したり、県民が事業者を糾弾したりする場ではありません。意見交換を通して、お互いに理解していくために開催するものです。

事業者が環境コミュニケーションを継続して開催し、事業者と県民がお互いの理解を深め信頼関係を築くことにより、みんなが安心して生活できるようになります。



学校授業での開催

日本ワイパブレード(株)

日本工業大学

光製薬(株)栗橋工場

実施年月日 平成31年1月16日(水)

開催場所 日本工業大学宮代キャンパス(宮代町)

内容

環境に配慮したものづくりを学ぶ学生が企業で取り組んでいる環境対策について理解を深めました。学生からの質問に対する企業側の熱のこもった説明で意見交換が盛り上がりました。



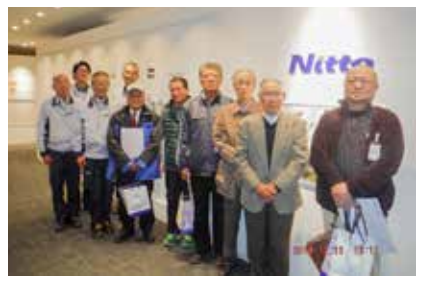
環境コミュニケーションを開催した県内事業所(平成28~30年度)



事業所での開催

実施年月日 平成30年12月11日(火)
開催場所 日東電工(株)関東事業所(深谷市)
内容
 平成29年度、県が企画した日本工業大学での環境コミュニケーションに参加しました。創立100周年の節目と捉え、地域社会と企業の発展を目指し、近隣住民の方々との環境コミュニケーションを当事業所で初めて開催しました。

日東電工(株)



生涯学習講座での開催

実施年月日 平成30年5月25日(金)
開催場所 公益財団法人埼玉県下水道公社
 荒川左岸北部支社(桶川市)
内容
 本庄市市民総合大学で、市民と市民に密接な事業者をマッチングして環境コミュニケーションを開催しました。

本庄市 市民総合大学

公益財団法人 埼玉県下水道公社



5 もっと知りたいとき

県政出前講座「化学物質と私たちの暮らし」

県職員が、生涯学習講座、環境学習、企業の社内研修等に伺います。

内容 身の回りで使われている「化学物質」にはどのような性質があるか、化学物質のリスクとは何か、上手に付き合っていくためのノウハウなどについて分かりやすくお話しします。

日時 御希望に応じ、平日夜間、土・日・祝日も行います。講座の時間は御相談ください。

費用 県職員の派遣費用は無料です。
ただし、会場費用などはお申込者側の御負担となります。

問合せ・申込み先 希望日の1か月前までにお申し込みください。
埼玉県環境部大気環境課 化学物質担当 TEL：048-830-2986
FAX：048-830-4772

分かりやすいパンフレット

「かんたん化学物質ガイド」環境省

[かんたん化学物質ガイド](#) [検索](#)

私たちの生活に身近な化学物質と環境
リスクについて、楽しく学べます。



「化学物質と上手に付き合うために
—化学物質のリスク評価—」

独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)

[化学物質と上手に付き合うために](#) [検索](#)

リスク評価について
学びながら、化学物
質とどのように付き
合えば良いか考えま
す。英語版もありま
す。



問合せ先

埼玉県環境部大気環境課 化学物質担当

〒330-9301 さいたま市浦和区高砂 3-15-1

TEL：048-830-2986 FAX：048-830-4772

E-Mail：a3050-08@pref.saitama.lg.jp

URL <http://www.pref.saitama.lg.jp/soshiki/a0504/>



埼玉県マスコット「さいたまっち」